

曾於市青少年海外派遣事業 in シアトル



←ノースウエスト校
での授業の様子



→ノースウエスト校
卒業式

曾於市教育委員会では平成22年度から「曾於市青少年海外派遣事業」を実施して、曾於市出身の高校生をアメリカのシアトルに派遣しています。そのねらいは、海外でのホームステイや現地の学校における学びを通して、国際的視野を広めるとともに心身共にたくましく思いやりのある青少年の育成を図ることです。

今年も夏休み期間中の約1カ月間、7名の高校生が参加しました。

この研修を通じて学んだこと、体験したことを生かして、今後の曾於市を担う青少年として、大いに活躍していただくことを期待されています。

以下の内容は、8月26日に市役所本庁で開催された帰国報告会で7名のみなさんが述べた感想が掲載されています。

都城工業高等専門学校 2年 山口 葵

私は、初めてアメリカに1ヶ月間住んでみて、アメリカにこのまま住みたいと思うこともあったけど、日本の良さも再発見することもできました。

わたしがこの研修で一番印象に残っていることは、やはりホストファミリーとのフリースタイルです。日本ではなかなかできない体験をたくさんさせていただきました。最初は言葉の壁にぶつかりなかなか伝えたいことが伝わらなかったけれど、徐々にコミュニケーションがとれるようになりました。

学校生活では、英語力を鍛えるとてもいい時間を過ごしました。授業の進め方は日本と少し違い、授業を通して他国の友達と仲良くなることができてとても楽しかったです。

失敗したことも何回もありましたが、それもいい経験だったと思います。英語を流暢に話せるようになることまではできなかったけれど、行く前よりは断然できるようになったと思います。

シアトル研修で感じ学んだことをこれからの自分に生かし、将来曾於市に貢献できるように頑張りたいと思います。

都城西高等学校 2年 濱田 琴音

私はシアトルで過ごした1ヶ月を一生の思い出にすることが出来ました。

しかし、シアトルで生活するにあたり、困難も多く、失敗することも多々ありました。

日本では、なんの苦もない買い物でさえ、アメリカでは苦痛でした。容赦ない英語での会話は当たり前です。しかし、その容赦ない英語のおかげで少し手荒ではありましたがリスニング力をはじめ、コミュニケーション力、単語力さまざまなスキルアップをすることが出来たと思います。

また、今回の研修で、視野を広げた進路選択や異

文化理解などのおかげで勉強に対する意識も大きく変わりました。

シアトル研修に携わった方への感謝を忘れず、これからも頑張ります。

曾於高等学校 1年 岸良 菜々

私がシアトルで特に頑張った事は、ホストファミリーと仲良くなることです。私のホストファミリーはおじいちゃんとおばあちゃんの二人暮らしのところで、とてもよくしてくれました。二人の孫の話や若い頃の思い出、たくさんのお話を教えてもらいました。アメリカと日本についても毎日のように話しました。たくさん話したおかげで10日後には冗談も言えるようになりました。

もう一つは、学校までの道をバスで毎日行っただとです。約1時間かけて、しかも乗り換えがあったので、乗りそびれたり寝過ごしたりしないようにハラハラしながら毎日乗っていました。

学校では、英語と友達作りを頑張りました。海外の同じ年代の子達と話すことは緊張したけれど、とても新鮮でした。英語を聞き取ることはできても、それにうまく返事ができなくて残念でした。

この夏、私は普段とは違う体験ができました。行かせていただき本当にありがとうございました。

都城工業高等専門学校 3年 前田 菜奈

今回の研修の思い出は私にとって一生忘れられないものになるのではないかと思います。

まず一つ目は学校についてです。様々な国籍の人と友達になることができました。選択した授業では一つの目的であった英語力を身につけるというのが果たせたのではないかと思います。

二つ目は観光についてです。当たり前ですが日本で見れないものばかりで、改めて日本のいいところ、日本にも取り入れるべきことをはっきりと認識する

ことができました。それだけでなく博物館や美術館にも足を運び、アメリカの文化にも触れることができました。

また、鹿児島、曾於市の文化も伝えることができてとても充実した1ヶ月だったと言えます。研修を支えてくれた両親、市役所の方々、曾於市の皆さんに感謝して今回の研修のことを後輩に語り継いでいきたいです。

都城工業高等専門学校 2年 朝倉 珠代

シアトルでの1ヶ月はあつという間に過ぎました。最初は、自分の英語が通じるのかすごく不安でしたが、いつも身振り手振りで何とか会話をしていました。ノースウエストスクールは、いろいろな国の人達が来ている事がおもしろかったです。

スクールでの授業は、先生の教え方がわかりやすかったです。ワシントン大学に行つて、きれいな建物が見学できてよかったです。最後の1週間のフイールドトリップは、いろいろな所に行けて楽しかったです。

行く前は積極的に行動することが目標でしたが、積極的に行動できなかった事もありました。でも、英語が耳に慣れて英語で話すことが楽しくなって、英語が好きになりました。

そして、アメリカという国を少し知ることができてよかったです。アメリカでお世話になった人に感謝して、日本でがんばろうと思います。

末吉高等学校 2年 徳重 千晶

私は今回のシアトル研修で、一生の宝物になる体験をすることができました。シアトルが第二の故郷になり、アメリカや中国、ロシアなど、色々な国の友達ができました。そして、語学や文化を学ぶことができ、改めて自分の将来の夢について考えようという意識が高まりました。

ホストファミリーや海外の友達との交流は今も続いており、毎日が驚きと発見の日々でとても充実しています。自分も研修前より自信に満ちあふれ、成長できたと感じています。本当に研修に行つて良かったと思っています。

援助してくださった市の方々と、協力して私を研修に行かせてくれた両親に本当に感謝しています。これから色々な困難があるとは思いますが、今回の経験で学んだことを生かして頑張りたいと思います。

志布志高等学校 二年 實田 希未

不安と緊張で始まった私の夏休みもあつという間に終わりました。

初めての海外でももちろん言語も環境も全てが違ふということと正直最初は不安しかありませんでした。この不安は自分の未熟な英語力が原因ということとは確実でした。最初は、話しかけられても、分かんず、心配の多い日が続きました。特に学校の授業では、勿論のことですが英語で授業が行われ、最初のうちは英語を聞き取り、内容を理解することなど難しくて出来ませんでした。しかし、それでも時間を重ねるごとに耳が慣れ聞き取れるようになる実感が出てきてとても嬉しかったです。また、最初は間違えることを恐れて話せていなかった会話も、自分から積極的に話しかけていくうちに、慣れてきてとても楽しく、現地以外の他国の友達とも会話を楽しむことが出来ました。

この研修で最も私が学んだことは、国や地域、人種などが違っていたとしても私たちは同じ人間であることには変わりないということです。勿論、価値観、文化の違いはありますが、言語が違ってても、通じ合うことは必ずできると思いました。

私は日本でのニュースで中国人に対してあまり良いイメージはありませんでしたが、話してみると、

本当にいい人たちがばかりで、固定観念はいけなないと特に感じました。また、固定観念だけでなく、最初から諦めて挑戦しないことなども良くないと思いました。

シアトル研修は、私を成長させてくれ、とても貴重な体験になりました。この機会を与えてくれた、両親、曾於市に、すごく感謝しています。挑戦することがどれだけ大切かを改めて実感することが出来ました。



↑マイクロソフト本社見学



↓お別れパーティーの様子